



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 江崎グリコ株式会社

コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 松本節範

TEL 06-6477-8404

四半期報告書提出予定日 平成29年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	271,041	3.7	22,714	34.7	24,471	27.9	16,976	23.0
28年3月期第3四半期	261,478	7.1	16,861	33.5	19,131	23.2	13,803	△27.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 16,278百万円 (40.2%) 28年3月期第3四半期 11,607百万円 (△48.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	258.43	—
28年3月期第3四半期	210.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	290,452	193,739	64.9	2,866.64
28年3月期	274,974	179,151	63.1	2,646.45

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 188,460百万円 28年3月期 173,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	358,500	5.9	22,500	31.5	23,000	19.6	16,000	15.1	243.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	69,430,069 株	28年3月期	69,430,069 株
29年3月期3Q	3,687,555 株	28年3月期	3,836,000 株
29年3月期3Q	65,690,237 株	28年3月期3Q	65,578,625 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

※参考資料 平成29年3月期 第3四半期決算短信補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)におけるわが国経済は、一部には持ち直しの動きは見られるものの、中国及び新興国経済の減速、英国のEU離脱問題などの影響が懸念され、為替や株価は不安定さを増すなど先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、主力品を軸とした売上拡大や新製品・系列品の発売、量販店やCVSでの販売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、菓子部門、食品部門、牛乳・乳製品部門は前年同期を下回りましたが、冷菓部門、食品原料部門、その他部門が前年同期を上回ったため、当四半期連結売上高は271,041百万円となり、前年同期(261,478百万円)に比べ3.7%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化や菓子部門、食品原料部門の売上原価率の改善等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費は、牛乳・乳製品部門の構成比率のダウンによって運送費及び保管費が減少し、広告宣伝費及び減価償却費も減少しました。その結果、営業利益は22,714百万円で前年同期(16,861百万円)に比べ5,853百万円の増益となり、経常利益は24,471百万円で前年同期(19,131百万円)に比べ5,339百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は16,976百万円となり、前年同期(13,803百万円)に比べ、3,172百万円の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

・セグメント別の概況

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高			営業利益		
	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比(%)	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比(%)
菓子	86,146	△3,300	96.3	8,443	1,240	117.2
冷菓	77,118	10,414	115.6	8,993	3,185	154.9
食品	15,190	△192	98.7	760	662	771.3
牛乳・乳製品	73,699	△2,130	97.2	4,254	923	127.7
食品原料	8,158	63	100.8	713	280	164.8
その他	10,728	4,709	178.2	445	503	—
調整	—	—	—	△896	△942	—
合計	271,041	9,562	103.7	22,714	5,853	134.7

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<菓子部門>

売上面では、国内は機能性表示食品の“リベラ”“GABA”が好調に推移し、“バンホーテンチョコレート”等が前年同期を上回り、全体では前年並みとなりました。海外は、中国子会社が現地通貨ベースで前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は86,146百万円となり、前年同期(89,447百万円)に比べ3.7%の減収となりました。

利益面では、国内及びタイ子会社での売上原価率の改善や海外での広告宣伝費率のダウン等によって、営業利益は8,443百万円となり、前年同期(7,203百万円)に比べ、1,240百万円の増益となりました。

<冷菓部門>

売上面では、主力の“パピコ”“アイスの実”“ジャイアントコーン”等が前年同期を上回りました。また、Glico Frozen(Thailand)Co.,Ltd.及び新たに連結範囲に含めました正直屋乳販(株)の売上が上乘せとなりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は77,118百万円となり、前年同期(66,703百万円)に比べ15.6%の増収となりました。

利益面では、増収及び原材料費率の低下による売上原価率のダウン等により、営業利益は8,993百万円となり、前年同期(5,807百万円)に比べ3,185百万円の増益となりました。

<食品部門>

売上面では、“カレー職人”“クレアシチュー”等は前年同期を上回りましたが、“熟カレー”等が前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,190百万円となり、前年同期(15,383百万円)に比べ1.3%の減収となりました。

利益面では、原材料費率の改善、リベートの効率運用及び一般管理費の削減等により、営業利益は760百万円となり、前年同期(98百万円)に比べ、662百万円の増益となりました。

<牛乳・乳製品部門>

売上面では、「粉ミルク」「BifiXヨーグルト」、キリンビバレッジ(株)の“トロピカーナエッセンシャルズ”は前年同期を上回りましたが、“カフェオーレ”“ドロリッチ”等が前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は73,699百万円となり、前年同期(75,830百万円)に比べ2.8%の減収となりました。

利益面では、粉ミルクの増収による増益や運送費及び保管費率の低下及び広告宣伝費の削減等により、営業利益は4,254百万円となり、前年同期(3,331百万円)に比べ、923百万円の増益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、「澱粉」等は前年同期を下回りましたが、“E-スターチ”“A-グル”等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,158百万円となり、前年同期(8,095百万円)に比べ0.8%の増収となりました。

利益面では、一般管理費の増加はあったものの、売上原価率が改善したこと等により、営業利益は713百万円となり、前年同期(433百万円)に比べ、280百万円の増益となりました。

<その他部門>

売上面では、「オフィスグリコ」や、セグメント区分を変更した“アーモンド効果”“カロリーコントロールアイズ”等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,728百万円となり、前年同期(6,019百万円)に比べ78.2%の増収となりました。

利益面では、オフィスグリコ及び健康部門の増収による売上総利益の増加により、営業利益は445百万円となり、前年同期(△58百万円)に比べ503百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は290,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,478百万円増加しました。流動資産は142,202百万円となり、10,867百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものです。固定資産は148,250百万円となり、4,611百万円増加しました。主な要因は、建物及び構築物の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は96,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ890百万円増加しました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は193,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,587百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加となります。この結果、自己資本比率は64.9%(前連結会計年度末比1.8%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月7日の「平成29年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ101百万円増加しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(確定拠出年金制度への移行)

当社は、平成28年10月1日に退職一時金制度の一部を確定拠出年金制度へ移行したことにより、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号平成14年1月31日)を適用し、確定拠出年金制度への移行部分について退職給付制度の一部終了の処理を行いました。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間の特別損失として286百万円を計上しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,941	63,884
受取手形及び売掛金	35,113	39,633
有価証券	11,395	6,640
商品及び製品	12,451	12,692
仕掛品	865	763
原材料及び貯蔵品	13,578	13,007
その他	7,042	5,634
貸倒引当金	△54	△53
流動資産合計	131,335	142,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,489	30,477
機械装置及び運搬具(純額)	28,379	26,688
土地	15,711	15,697
建設仮勘定	12,025	8,193
その他(純額)	3,972	3,795
有形固定資産合計	82,577	84,852
無形固定資産		
その他	4,053	5,141
無形固定資産合計	4,053	5,141
投資その他の資産		
投資有価証券	37,922	39,650
投資不動産(純額)	12,402	12,371
その他	6,735	6,284
貸倒引当金	△52	△50
投資その他の資産合計	57,008	58,256
固定資産合計	143,639	148,250
資産合計	274,974	290,452

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,396	33,879
短期借入金	5,218	228
1年内返済予定の長期借入金	501	436
未払費用	25,107	24,815
未払法人税等	2,179	3,438
販売促進引当金	1,675	1,725
役員賞与引当金	41	—
BIP株式給付引当金	56	—
ESOP分配引当金	1,366	—
その他	12,253	12,870
流動負債合計	76,795	77,394
固定負債		
長期借入金	501	672
退職給付に係る負債	10,927	7,902
その他	7,598	10,743
固定負債合計	19,027	19,318
負債合計	95,822	96,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,816	9,049
利益剰余金	155,190	169,570
自己株式	△6,811	△7,126
株主資本合計	163,968	179,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,949	11,413
為替換算調整勘定	2,646	△1,675
退職給付に係る調整累計額	△973	△545
その他の包括利益累計額合計	9,623	9,192
非支配株主持分	5,560	5,279
純資産合計	179,151	193,739
負債純資産合計	274,974	290,452

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	261,478	271,041
売上原価	141,788	144,158
売上総利益	119,690	126,883
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	23,460	23,434
販売促進費	37,345	38,346
販売促進引当金繰入額	1,520	1,725
広告宣伝費	9,373	8,279
退職給付費用	671	802
その他	30,458	31,579
販売費及び一般管理費合計	102,828	104,168
営業利益	16,861	22,714
営業外収益		
受取利息	282	296
受取配当金	1,754	697
その他	1,389	1,539
営業外収益合計	3,426	2,534
営業外費用		
支払利息	126	75
為替差損	332	113
その他	698	588
営業外費用合計	1,156	776
経常利益	19,131	24,471
特別利益		
負ののれん発生益	—	313
投資有価証券売却益	1,414	12
投資有価証券償還益	402	—
特別利益合計	1,816	326
特別損失		
退職給付制度終了損	—	286
減損損失	18	76
その他	—	12
特別損失合計	18	375
税金等調整前四半期純利益	20,930	24,422
法人税、住民税及び事業税	5,590	6,367
法人税等調整額	1,207	508
法人税等合計	6,797	6,876
四半期純利益	14,132	17,546
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,803	16,976
非支配株主に帰属する四半期純利益	329	569

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△648	3,463
為替換算調整勘定	△1,647	△4,785
退職給付に係る調整額	154	428
持分法適用会社に対する持分相当額	△384	△374
その他の包括利益合計	△2,525	△1,267
四半期包括利益	11,607	16,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,833	16,545
非支配株主に係る四半期包括利益	△226	△266

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	89,447	66,703	15,383	75,830	8,095	255,459	6,019	261,478	—	261,478
セグメント間の内部売 上高又は振替高	511	—	—	457	122	1,091	3,087	4,179	△4,179	—
計	89,959	66,703	15,383	76,287	8,217	256,551	9,106	265,658	△4,179	261,478
セグメント利益又は損失 (△)	7,203	5,807	98	3,331	433	16,873	△58	16,815	46	16,861

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門(旧スポーツフーズ部門)、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額46百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額849百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△802百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	86,146	77,118	15,190	73,699	8,158	260,312	10,728	271,041	—	271,041
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3	—	—	53	132	188	3,455	3,644	△3,644	—
計	86,150	77,118	15,190	73,752	8,290	260,501	14,184	274,685	△3,644	271,041
セグメント利益	8,443	8,993	760	4,254	713	23,165	445	23,611	△896	22,714

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門及びシステム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△896百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額637百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,534百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「菓子」7百万円、「冷菓」84百万円、「食品」0百万円、「牛乳・乳製品」1百万円、「食品原料」0百万円、「その他」7百万円、それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

1. 2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行

当社は、平成29年1月12日の取締役会において、2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を発行することを決議し、平成29年1月30日に払い込みが完了しております。その概要は次のとおりであります。

(1) 社債の名称

江崎グリコ株式会社2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債(以下「本新株予約権付社債」といい、そのうち社債のみを「本社債」、新株予約権のみを「本新株予約権」という。)

(2) 発行価額(払込金額)

本社債の額面金額の100.5%(各本社債の額面金額 10百万円)

(3) 発行価格(募集価格)

本社債の額面金額の103.0%

(4) 発行価額の総額

30,150百万円及び代替新株予約権付社債券(本新株予約権付社債券の紛失、盗難又は滅失の場合に適切な証明及び補償を得て発行する新株予約権付社債券をいう。以下同じ。)に係る本社債の払込金額合計額を合計した額

(5) 利率

本社債には利息は付さない。

(6) 払込期日及び発行日

2017年1月30日(ロンドン時間、以下別段の表示のない限り同じ。)

(7) 償還の方法及び期限

2024年1月30日(償還期限)に本社債の額面金額の100%で償還する。ただし、発行要項に一定の定めがある。

(8) 新株予約権に関する事項

①新株予約権の目的である株式の種類、内容及び数

(イ)種類及び内容

当社普通株式(単元株式数 100株)

(ロ)数

本新株予約権の行使により当社が当社普通株式を交付する数は、行使請求に係る本社債の額面金額の総額を下記③に記載の転換価額で除した数とする。但し、行使により生じる1株未満の端数は切り捨て、現金による調整は行わない。

②発行する新株予約権の総数

3,000個及び代替新株予約権付社債券に係る本社債の額面金額合計額を10百万円で除した個数の合計数

③新株予約権の行使に際して払い込むべき金額

(イ)各本新株予約権の行使に際しては、当該本新株予約権に係る本社債を出資するものとし、当該本社債の価額は、その額面金額と同額とする。

(ロ)転換価額は、当初、8,093円とする。

(ハ)転換価額の調整

転換価額は、本新株予約権付社債の発行後、当社が当社普通株式の時価を下回る払込金額で当社普通株式を発行し又は当社の保有する当社普通株式を処分する場合には、下記の算式により調整される。なお、下記の算式において、「既発行株式数」は当社の発行済普通株式(当社が保有するものを除く。)の総数をいう。

$$\text{調整後転換価額} = \text{調整前転換価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{発行又は処分株式数} \times \text{1株当たり払込金額}}{\text{時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{発行又は処分株式数}}$$

また、転換価額は、当社普通株式の分割又は併合、当社普通株式の時価を下回る価額をもって当社普通株式の交付を請求できる新株予約権(新株予約権付社債に付されるものを含む。)の発行が行われる場合その他一定の事由が生じた場合にも適宜調整される。

④新株予約権を行使することができる期間

2017年2月13日から2024年1月16日まで(行使請求受付場所現地時間)とする。ただし、発行要項に一定の定めがある。

⑤その他の新株予約権の行使の条件

各本新株予約権の一部行使はできない。

⑥新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金

本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条の定めるところに従って算定された資本金等増加限度額に0.5を乗じた金額とし、計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とする。増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額より増加する資本金の額を減じた額とする。

⑦当社が組織再編等を行う場合の承継会社等による新株予約権の交付

発行要項に一定の定めがある。

(9) 社債の担保又は保証

本社債は、担保又は保証を付さないで発行される。

(10) 資金の使途

本新株予約権付社債の発行による手取金約300億円の使途は、以下を予定している。

- (イ) 海外拠点における生産能力増強を目的として、中国・韓国における生産工場への設備投資資金として約35億円、タイ・インドネシアにおける販売拡大に向けた設備投資資金として約10億円、合計して2019年3月末までに約45億円
- (ロ) 冷菓事業における千葉工場等の生産能力増強及び販売拡大に向けた設備投資資金として2019年3月末までに約110億円
- (ハ) 菓子事業及び牛乳・乳製品事業を中心とした生産能力増強等に向けた設備投資資金として2019年3月末までに約70億円
- (ニ) 商品開発力及び基礎研究力強化を目的とした本社敷地内における研究開発に係る設備投資資金として、2019年3月末までに約75億円

決算短信補足説明資料

-17年3月期 第3四半期決算-

江崎グリコ株式会社
EZAKI GLICO CO.,LTD.

1.連結経営成績

(1)売上高・利益の概況

単位：億円

	16/3 3Q累計 実績	17/3 3Q累計 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	2,615	2,710	96	3.7
営業利益	169	227	59	34.7
経常利益	191	245	53	27.9
当期純利益	138	170	32	23.0

(2)地域ごとの売上高

単位：億円

	16/3 3Q累計 実績	17/3 3Q累計 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
日本	2,285	2,406	121	5.3
中国	217	172	▲ 45	-20.8
東南アジア	74	89	15	19.8
その他	39	44	5	12.9
合計	2,615	2,710	96	3.7

※売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3)営業利益の状況

単位：億円

	16/3 3Q累計		17/3 3Q累計	
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)
売上高	2,615	100.0	2,710	100.0
売上原価	1,418	54.2	1,442	53.2
売上総利益	1,197	45.8	1,269	46.8
運賃保管料	235	9.0	234	8.6
販売促進費	389	14.9	401	14.8
広告費	94	3.6	83	3.1
人件費・厚生費	202	7.7	211	7.8
経費・償却費	109	4.2	112	4.1
販管費合計	1,028	39.4	1,042	38.4
営業利益	169	6.4	227	8.4

営業利益の増減要因	対16/3
①売上高増減による増減益	22
②売上原価率変動による増減益	28
③運賃保管料比率変動による増減益	9
④販売促進費比率・広告費増減による増減益	13
⑤一般管理費増減による増減益	▲ 13
合計	59

(4)セグメント別売上高の状況

単位：億円

	16/3 3Q累計 実績	17/3 3Q累計 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子	894	861	▲ 33	-3.7
(内 国内菓子)	564	570	6	1.0
冷菓	667	771	104	15.6
(内 国内冷菓)	667	765	98	14.7
牛乳・乳製品	758	737	▲ 21	-2.8
(内 国内牛乳・乳製品)	758	730	▲ 29	-3.8
食品	154	152	▲ 2	-1.3
食品原料	81	82	1	0.8
その他	60	107	47	78.2
合 計	2,615	2,710	96	3.7

※上記値の国内外区分

国内	2,285	2,406	121	5.3
海外	330	305	▲ 25	-7.7
合 計	2,615	2,710	96	3.7

<参考> 中国、タイの実績については下記レートで計算

	16/3 3Q累計	17/3 3Q累計
中国	1CNY=18.96円	1CNY=15.14円
タイ	1THB= 3.29円	1THB= 2.91円

(5)セグメント別営業利益の状況

単位：億円

	16/3 3Q累計 実績	17/3 3Q累計 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子	72	84	12	17.2
(内 国内菓子)	41	52	10	25.0
冷菓	58	90	32	54.9
(内 国内冷菓)	58	91	33	56.8
牛乳・乳製品	33	43	9	27.7
(内 国内牛乳・乳製品)	33	42	8	24.9
食品	1	8	7	671.3
食品原料	4	7	3	64.7
その他	▲ 0	▲ 5	▲ 4	-
合 計	169	227	59	34.7

※上記値の国内外区分

国内	138	195	57	41.1
海外	31	32	2	5.9
合 計	169	227	59	34.7

<参考> 中国、タイの実績については下記レートで計算

	16/3 3Q累計	17/3 3Q累計
中国	1CNY=18.96円	1CNY=15.14円
タイ	1THB= 3.29円	1THB= 2.91円

2.連結財政状態

単位：億円

	16/3末	16/12末	増減		16/3末	16/12末	増減
流動資産合計	1,313	1,422	109	流動負債合計	768	774	6
現金及び預金	509	639	129	支払手形及び買掛金	284	339	55
受取手形及び売掛金	351	396	45	短期借入金等	57	7	▲ 51
棚卸資産	269	265	▲ 4	その他	427	429	2
その他	184	122	▲ 62	固定負債合計	190	193	3
固定資産合計	1,436	1,483	46	長期借入金	5	7	2
有形固定資産	826	849	23	退職給付に係る負債	109	79	▲ 30
無形固定資産	41	51	11	その他	76	107	31
投資有価証券	379	397	17	負債合計	958	967	9
投資不動産	124	124	▲ 0	純資産合計	1,792	1,937	146
その他	67	62	▲ 4	株主資本	1,640	1,793	153
				その他の包括利益累計額	96	92	▲ 4
				非支配株主持分	56	53	▲ 3
資産合計	2,750	2,905	155	負債純資産合計	2,750	2,905	155